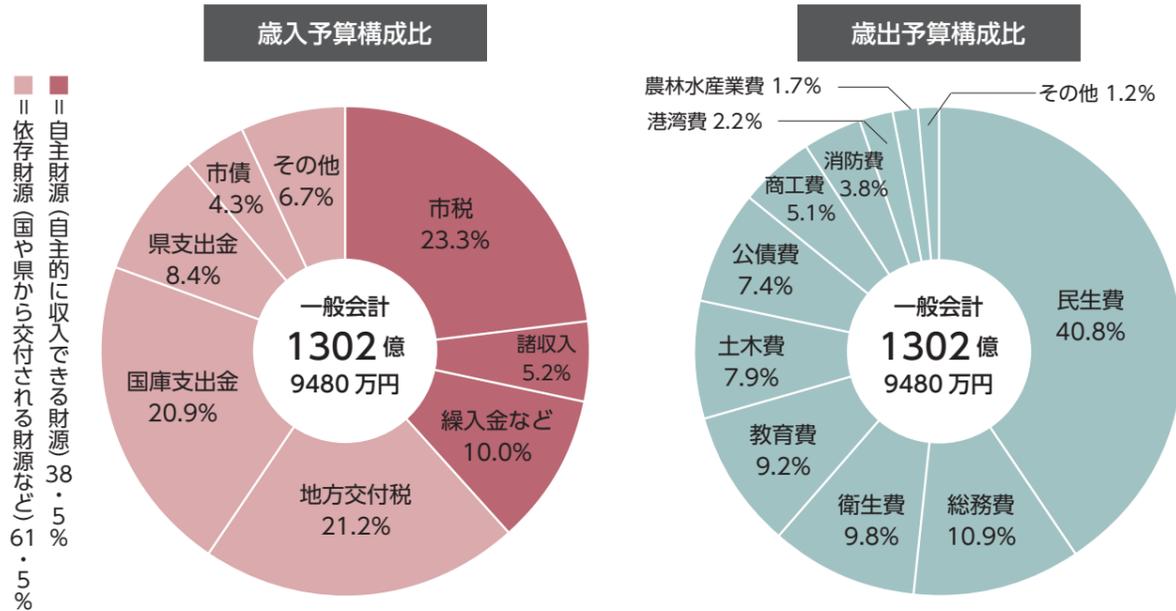


## オール SASEBO で未来をつくる 次の一步を拓く予算



令和7年度一般会計当初予算は、次の5つの基本方針を定め予算編成に取り組みました。

- 1 人口減少という政策課題を解決するため、シティブランディング・プロジェクトを展開する
- 2 第7次総合計画(後期基本計画)の2年目として、県との連携を図りながら各施策を確実に推進する
- 3 官民共創の意識を持ち各施策を推進する。また、行財政改革にも取り組むことで必要な財源を確保する
- 4 賃金・物価・金利の上昇等、近年の経済環境の変化に対応する
- 5 財政の健全性を堅持し、災害等緊急的な事案にも即応できるように一定の柔軟性を確保する

令和7年度は、第7次総合計画(後期基本計画)に掲げるまちづくりの実現に向けて、本市が持つ多様な資源を活用し、市の可能性や魅力を最大限生かし、未来を先取る取り組みに挑戦するため、「選ばれるまち SASEBO をつくるシティブランディング・プロジェクト」の予算を計上しています。また、人口が減少する中、行政サービスや行政の在り方そのものに対する変革の視点を持ち、着実に実行に移していくことが必要不可欠であることから、「佐世保市DX戦略」に基づくDX戦略関連事業に取り組むことに加え、ゼロカーボン推進事業も実施することとしています。

### 令和7年度の主な事業

#### シティブランディング・プロジェクト

シティブランディング・プロジェクトの関連予算を計上し、4つの柱(子育て、産業、地域資源、文化)ごとに設定しているまちの姿を目指して、さまざまな取り組みを実施していきます。  
※詳しくは本紙6、7ページでお知らせします。

#### 緊急経済対策(物価高騰対策)

成長型経済への移行に道筋を付け、物価高を克服する事業に3億4374万円を計上しています。

#### 佐世保市DX戦略

主に行政経営分野、教育分野において、11億8073万円を計上しています。

#### ゼロカーボン推進事業

2050年のカーボンニュートラル社会の実現に向けて、2億1357万円を計上しています。

### まちづくりの主な事業

#### 佐世保市立中学校 夜間学級開級 241万円

義務教育を修了しないまま学齢期を経過した人や本国で義務教育を修了していない外国籍の人の他、不登校の学齢期の中学生も通級できる夜間学級を市立祇園中学校に開級します。

#### 英語検定試験検定料補助 412万円

英語検定試験を受験する市立中学校および義務教育学校(後期課程)の全学年の保護者に対し補助金を支給します。

#### マガキ三倍体の普及促進 625万円

夏場のへい死リスクが低く、安定した身入りが期待できるマガキ三倍体の普及推進を図り、養殖業の安定経営につなげます。

#### コミュニティ推進 (地区自治協議会活動等支援) 7776万円

地域運営の要となる地区自治協議会の活動がより活発になり、自分たちの手によるまちづくりがより一層促進されるよう補助金制度から機能を拡充し、交付金として地域予算制度を開始します。

#### 地方バス路線維持対策 1億189万円

基幹交通・補完交通の維持、確保を図ることを目的として、新たに補助路線を2路線追加(補助路線計7路線)します。

- 追加路線  
知見寺線、楠泊線

#### 交通不便地区対策 5378万円

- 公共ライドシェア  
黒島地区への公共ライドシェア導入に向けて実証実験などを実施します。
- デマンドタクシー(予約制乗合タクシー)  
市内5地区に導入し、4月から運行を開始します。詳しくは、本紙12ページでお知らせします。

### 緊急経済対策(物価高騰対策)

#### 地域通貨(させぼeコイン)発行 1億4362万円

地域通貨「させぼeコイン」を発行し、経済循環と地域活性化を図るとともに、物価高騰等の影響を受ける生活者・事業者を支援します。

#### 先端設備等導入補助 4500万円

先端設備等導入計画の認定を受けた市内中小企業に対し、設備導入に係る経費の一部を補助します。

### 佐世保市DX戦略

#### 書かない窓口の導入 3248万円

市役所本庁舎1階の戸籍住民窓口課に「書かない窓口システム」を導入します。申請書を記入する手間と記載内容の誤りによる手戻りを減らすことで時間短縮を図り、書かない、分かりやすい窓口の実現を目指します。

#### 市立小中学校体育館等へのスマートロック および施設予約システム導入 3042万円

市立小中学校体育館等を借りる際の予約がオンラインでできるようになる他、物理的な鍵を使わず暗証番号を入力することで解錠できるようになります(令和8年度開始予定)。

### ゼロカーボン推進事業

#### 再生可能エネルギー導入およびZEB化検討 4019万円

- 太陽光発電設備導入可能性調査  
太陽光発電設備の導入効果が高い市有施設の調査および設置検討を行い、再生可能エネルギーの導入促進によって二酸化炭素排出量の削減を図ります。
- ZEB化に向けた省エネ診断および伴走支援  
市有施設(3施設)を対象に省エネ診断と伴走支援を組み合わせたZEB化に向けた調査および検討を行います。
- カーボンニュートラルレポート形成  
港湾施設に太陽光発電設備を導入した場合の、港湾施設におけるエネルギー構造の高度化を図るための調査を実施し、脱炭素化に向けたシミュレーションを行います。  
※ ZEB: 省エネでエネルギーを減らし、創エネでエネルギーをつくることで消費量ゼロを目指す建物。

子育て：こども・子育て応援プログラム

中学校給食費の無償化  
2億6122万円



令和6年度からの中学校第3学年および義務教育学校第9学年の学校給食費無償化に加え、令和7年度から中学校第2学年および義務教育学校第8学年まで対象を拡大します。併せて、学校給食費の無償化の支援を受けていない生徒（アレルギーなどで弁当を持参している生徒や不登校等によって給食の停止届が出ている生徒、私学に通っている生徒等）の保護者を対象に学校給食費相当額を補助します。

第2子以降の保育料無償化  
1億7190万円



保育所等をきょうだいで同時に利用する、第2子以降の1、2歳児の保育料無償化を実施します。

不妊に悩む方への特定治療支援  
996万円

長崎県の助成制度と連携し、令和6年度から実施している全額自己負担となっている先進医療費への助成に加え、令和7年度から市独自の支援策として特定不妊治療の通院に要した交通費の助成を実施します。

高校生等世代の医療費補助  
9474万円

高校生等世代の医療費について、助成方法を償還払い方式から現物給付方式に変更します。

産業：グローバル産業育成プログラム

チャレンジショップ支援  
400万円

中心市街地における商店街を中心に、空き店舗や空き物件を「チャレンジショップ」として出店希望者へ低価格で貸し出し、出店者の独立開業を支援します。

イノベーションリーダー育成プログラム  
898万円

地域課題解決につながるようなベンチャービジネスや第二創業を目指す人を対象に、新たな発想に基づくビジネスや施策プランの立ち上げなどの支援を行います。

外国人材の受け入れと定着促進  
770万円

外国人材の受け入れに伴う職場環境や生活環境の改善等の取り組みに係る経費や、外国人IT人材を採用する際に必要な経費を補助します。また、外国人材の確保・定着に向けた課題の共有や解決策を検討する場として、外部関係機関を交えた協議会を設置します。

陸上養殖普及推進  
805万円

陸上養殖の普及推進のため、施設・設備の整備経費に対する支援を行うとともに、陸上養殖に関する知見の収集のための試験養殖などを行います。

少年科学館ふるさと教育  
350万円



将来の若者の定着化やUターンの促進につなげるため、少年科学館に来館したり各種事業に参加したりする児童、保護者に対して、地元企業（星きりりサポーター）の広報を実施するとともに、ふれあいの場を創出し、地域の産業や人材と出会うふるさと教育を行います。

地域資源：オンリーワン価値創造プログラム

三浦地区みなとまちづくり  
1億728万円

三浦地区の機能的な港湾施設の配置と宿泊施設の誘致を含めた再編を実施して、航路利用者の安全性・利便性向上を図ります。

北九十九島エリアマネジメント  
2000万円



「北九十九島エリア」が育んできた歴史的な建物や空き家、自然景観、地域に根付く人などを最大限に活用した拠点づくりを継続して進めていきます。

ハウステンボスとの連携による  
誘客・周遊促進  
5000万円

ハウステンボスと九十九島や市内の観光施設等との連携を強化し、エリア一体での観光誘客と周遊の促進、消費喚起を図ります。

西海国立公園指定70周年記念事業  
3700万円



西海国立公園指定70周年を契機に、1年間を通してイベントやキャンペーンを実施し、「西海国立公園」「佐世保」「九十九島」のさらなる認知度向上や誘客促進を目指します。

文化：シビックプライド醸成プログラム

若者活躍支援  
1283万円

若者コミュニティ「Sasebo X」<sup>サセボクロス</sup>を運営する他、若者による取り組みの実践から効果までのプロセスを評価するイベント「若者活躍 Award」<sup>アワード</sup>（仮）を実施します。また、若者による取り組みを支援するため活動費を補助します。

宇久高校離島留学支援  
250万円

令和8年度からの長崎県の離島留学制度の導入に合わせた支援（ホームステイ先へのリフォーム補助）を行います。

ながさきピース文化祭2025  
1億1500万円

9月14日（日）から11月30日（日）までの78日間にわたり開催される「ながさきピース文化祭2025」で、太鼓やオーケストラ等の全国規模の文化団体との交流事業の他、スケートボードとダンスの融合イベントなど本市の特色を生かした事業を実施します。

スケートボードパーク整備  
6007万円  
（総事業費 1億5018万円）

佐世保公園に新たなスケートボードパークを整備することで、アーバンスポーツの拠点を創出します。

ツール・ド・九州2025  
7608万円



海外選手も参加する国際的なサイクリススポーツイベントである「ツール・ド・九州」のエキシビジョンレース（クリテリウム）を長崎県と連携し本市で開催します。